



# 東京日々新聞

千十五號



# むらりく薬

大坂天満の横通り、昔より「むらりく薬」を賣る主い呂大夫と云ふ義太夫の師匠の女房へ、羨麗みて賣薬よりも名高く京人形と得しが兼て此家の寓公と密通し、

と呂大夫の疾くも知りて大ききる腰斗とつゝりて女房の脊負つせ、彼の寓公と呼出して二年來、所持の京人形と足下の玩弄に進む。

何處へありと日御持をこれと追出さきて、二人とも不覚の涙こり、薬手小手と出して出せし、主人が語る茶理場は似たり。

## 轉々堂

### 戯録



一萬石の  
芳歳

野具足屋 渡辺彫栄

